



奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

2022. 3. 8
第 2046 回例会




WEEKLY BULLETIN


水と衛生月間

会長 須永 恵子 幹事 田口 精二

本日の予定 [Zoom 例会]

 職業奉仕リレースピーチ / 1人 5分以内 / 一週 5人

タイムキーパー 井上 学 職業奉仕委員長

 ♪ ロータリーソング ♪

それどころロータリー、古河東ロータリークラブソング

会長の時間

2021-22 年度会長 須永 恵子



ロータリー入門書「ロータリーの理念と実践」より人間の心の中には善意と利己心は常に同居して相争っているのが実情であって、これが錯綜して織りなす人間模様こそ社会

の実態ではないでしょうか。利己心、それは自己保存の本能とつながり、人間の生命線であります。

利己心を満足させるのにも一人ではできません。これが為に生まれるつながりが、いわゆる縦の(たて)割りの人間関係であり、親分子分、先輩後輩、上司と部下、雇い主と使用人、権力者と庶民といった関係であります。極めて強靱であります。しかし、人間の社会にはこの縦の関係の外に横のつながりがあります。隣人愛、博愛、友情などによって結ばれた仲間意識であります。この横のつながりの絆をなすものがすなわち善意であります。今日からロータリアンより(ロータリアンの守るべき道)

ロータリーの活動は善意から出発します。一人ひとりの善意の奉仕を実践しましょう。

また、「ロータリーの目的、四つのテスト、ロータリアンの行動規範」を実践することがロータリーの基本原則であります。とありますのでご紹介させていただきました。

さて、2月23日はロータリー創立記念日でした。23日からの1週間は「国際理解と平和の日」と決められております。今年で117年目を迎えます。

2月の例会はオミクロン株の感染拡大で猛威を振るい残念ながら休会とさせて頂きました。考えてみますと感染拡大の状況をみますと、休会で良かったとホッとしております。

今月3月のプログラムは井上学職業奉仕委員長のリクエストで「職業奉仕リレースピーチ」ということです。リクエストされた井上学職業奉仕委員長、そして、そのリクエストを取り入れてくれた武澤郁夫プログラム委員長に感謝をいたします。ありがとうございます。これを機会にロータリーや職業奉仕等について再認識する、また、学びの場としていただきたいと思います。よろしく願いいたします。



前回例会報告（第2045回）2022年3月1日 Zoom 例会

進行



小森谷 久美 会員

点鐘



須永 恵子 会長

オーディオ担当

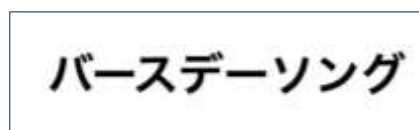
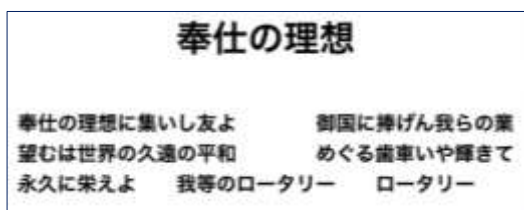


鶴岡 学 会員

♪ ロータリーソング ♪ 君が代、奉仕の理想、バースデーソング

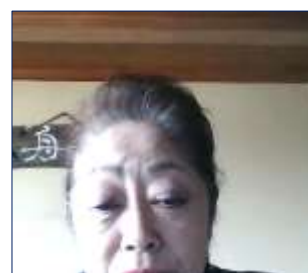
🔥 開会前食事

🔥 感染症対策のため発声なし（ハミングあり）



お客様・ご来訪ロータリアンの紹介

🔥 (株)MUSUBI 代表 増田 恵美 様（旅行業）



🔥 高橋 采子 会員

体験例会にお誘いいたしました。皆様よろしくお願いたします。

セレモニー

🔥 月初めのお祝い 進行：福田 優子 親睦活動委員長



今日から3月です。2月は、例会がございましたので、2月及び3月のお誕生日のお祝いをさせていただきます。

2月は英語で February、2月といえば、旧暦では最後の月でもありますし、死者の弔いをするのに丁度よい時期だったのかもしれませんが。February は、ローマ神話の神「フェブルウス (Februus)」が由来で、古代ローマでは、戦争で亡くなった戦士の霊を弔うために、毎年2月

に慰霊と浄化のお祭りである"Februa"を行ってました。フェブルウスはこのお祭りの主神とも見られ、お祭りの名称もフェブルウスから取られています。また、死者や霊との関りも深い事から、冥界の王であるプルートと同一視される事もあります。

3月 March はローマ神話の軍神である「マルス (Mars)」が由来です。元々古代ローマ時代には現在の3月が1年の始まりの月であり、新年を迎える年でしたので、各地で戦争も起きやすく、戦争を象徴する月であることからきています。

セレモニー

🔥 月初めのお祝い 進行：福田 優子 親睦活動委員長

[2月生まれの方]

植木 静子 会員、森 敏夫 会員、小倉 郁雄 会員

齊藤 忠 会員、三田 圭子 会員、石川 久 会員



[3月生まれの方]

福富 好一 会員、板橋 孝司 会員、高橋 采子 会員

委員会報告

🔥 職業奉仕委員会 井上 学 委員長

4月21日(木)の渋沢栄一ゆかりの地「論語の里」めぐり、
現在24名の参加申し込みをいただいております。

ご参加いただける方は、私宛申し出願います。



🔥 出席状況記録

第2045回例会(3/1)		第2043回例会(2/11)前々回
名誉会員を除く会員数	55名	休 会
出席計算に用いた会員数	30名	
出席またはMake Up 会員数	23名	
出席率	76.67%	
第2042回例会(2/8)		第2041回例会(2/6)
休 会		休 会

幹事報告

田口 精二 幹事


第9回定例理事会承認事項報告

1. 2月の会計報告
2. 4月のプログラムについて
3. 各委員会進捗状況について
4. 5月8日地区大会の会員参加方法について
5. お客様卓話者への謝礼について

6. その他

- ① バングラディッシュ出身の米山奨学生 4月から1年半
- ② 4/17(日) 2021-2022年度「ロータリー賞」のための説明会会長・幹事 Zoom 参加



 齊藤 愛 会員



「弁護士は、真実を尊重し、信義に従い、誠実かつ公正に職務を行うものとする。」（弁護士職務基本規程第5条）——弁護士は職務を遂行する上で真実を尊重することとされています（真実義務）。一方で、弁護士には依頼者の利益を守り、依頼者に対して誠実に職務を遂行するという義務（誠実義務）があります。そうすると、「真実」と依頼者の利益がぶつかる場面が想定されます。例えば、民事事件の依頼者が、自分に不利な結果になることを避けるため、あたかも虚偽に見える事実の主張や、偽造が疑われるような証拠を提出するよう求めてきたりしたら、弁護士はどのように行動すべきなのでしょう。


弁護士が守るべき依頼者の利益は、あくまで「正当な利益」です。依頼者が自分の認識に反してあえて事実を否認したり、わざと虚偽の事実を主張したりすることを求めてきたら、それは依頼者の正当な利益の保護とは言い難く、弁護士としては、説得してやめさせるよう

に努力することが求められるでしょう。

（なお、刑事事件では、有罪の立証責任や黙秘権との関係でまた異なる問題が生じるのですが、この話題は別の機会に委ねることにしたいと思います）

しかし、そもそも「真実かどうか」は、往々にして、そう簡単に判断できることではありません。「何が真実か」「何が虚偽か」というのは、極めて難しい問いです。一つの事実も、見方が変われば全く異なるものになり得ます。そうした視点は、依頼者の正当な権利・利益を守るためにも重要であり、常に気をつけるように心がけています。



 坂田 信夫 会員



私が古河の地に会社を創って、52年目になります。早いものです。

私自身は、7年前に現役を引退しまして、全て業務は、息子に任せております。この間、5回ほど難関に出くわしております。ただ何とか切り抜けてきたことは、誇りでもあります。

会社の社是は、「三つのまこと・真実の真、誠実の誠、信用の信」を掲げておりまして、正

しく「四つのテスト」に当てはまると思います。これを実践したからこそ、難関を乗り越えることができたものと思います。

また、ネジを販売いたしておりますが、ネジ以外は扱わなかったこと、自分の生業であるネジの販売一筋に徹底したことこれも力になったと思います。

まさに「四つのテスト」は、職業だけでなく人間の生き方の基本であり、ロータリークラブに在籍していたからこそ、現在まで続いているのだと思います。

 佐谷 道浩 会員



ポール・ハリスの言葉に「もし神の導きで、いつの日か巨大なコロシアムの演壇に立ち、すべてのロータリ

アンと向かい合い、私が一言だけ語ることを許されるなら、一瞬のためらいもなく、私は大声を張り上げてこう叫ぶ『寛容!』と』というものがあります。

弁護士としては、裁判や交渉での完勝を目指すばかりではありません。紛争の後にも、当事者の長い人生があり、企業の活動があります。真の紛争解決とは、憎しみあう終わり方ではなく、関係者間の将来に向けた真の和解が図られることにあります。このことは、離婚後の子どもの養育問題や、親族間の相続問題などの例を考えるとよく分かります。弁護士として、寛容という考え方が重要なゆえんです。

また、近時のロータリーの重要な価値観である、多様性・公平さ・インクルージョン（包摂）、英語では DEI (diversity equity inclusion) も、弁護士や弁護士会の活動として、これからますます重要な概念となります。人々の多様性を認め、公平で、様々な人に優しい包摂（インクルージョン）の社会となるよう活動していきたいです。それが、みんなにとって生きやすい社会だからです。

ところで、ロータリーの 7 つの重点分野の筆頭にあげられるのが、平和構築と紛争予防です。しかるに、2月24日、ロシアのウクラ

イナに対する攻撃が始まりました。2月現在、ウクライナには62のロータリークラブがあり、1083人のロータリアンがいます。ロシアにもロータリークラブがあります。平和と寛容、多様性と包摂を旨とするロータリアンにとって、これほどの悲劇はありません。一日も早い平和を祈ります。

【国際ロータリーの声明】

ウクライナと世界の人びとにとって、痛ましく悲惨な状況となっています。

ロータリーは、ウクライナにおける状況悪化と、人命の喪失および人道的苦難が深刻化していることを深く懸念しています。ウクライナに対する軍事行動が続けば、地域の荒廃を招くだけでなく、欧州と世界にも悲惨な結果が広がる恐れがあります。

世界最大の人道支援団体の一つとして、ロータリーは「平和」を世界的使命の礎としてきました。私たちは、国際社会とともに即座の停戦、ロシア軍の撤退、および対話を通じた対立解決のための外交努力の再開を求めます。

過去10年間、ウクライナ、ロシア、および近隣諸国のロータリークラブは、国の違いを超えて、親善を推進し、戦争や暴力の被害者への支援を先導する平和構築プロジェクトに積極的に取り組んできました。私たちは今、この悲劇的な出来事に直面しているウクライナのロータリー会員や人びとのために祈ります。国際ロータリーは、救援物資や支援を提供し、ウクライナ地域に平和をもたらすために全力を尽くします。



 杉岡 榮治 会員



「四つのテストの唱和」

私が会長をさせていただいた年度の一年前2006年から朝礼での唱和を開始し新型コロナウイルス感染が始まる2020年までの14年間実施してまいりました。

ご存じのようにRI会長を務めたハーバート・テラーが1933年に提唱したものです。多額の借金を抱えて今にも倒産しそうなクラブ・アルミニウムという会社を再建させるために考えられたもので全従業員が行動指針として実践することによって、高配当をする優良企業に生まれ変わったというものです。

実際に効果があるかどうか確信があったわけではありませんが、試しに朝礼で唱和してみようと考え始めました。最初はみんな特に

若い従業員は、なにこれ？という感じだったと思いますが継続してみました。

ある時唱和を継続してきて良かったと思える事例がありました。消毒の仕事で或る規模の大きい食品工場に行きました。作業後に状況報告書を提出するのですが、たまたま幾らか害虫の発生が見られましたので現状のままを記入して提出しました。

お客様によっては保健所の検査に都合の良い報告書を要求されることがありますが日ごろ唱和している「真実かどうか」に反することになるので現状のままの報告書を作成してきました。

「業界の常識は社会の非常識」という言葉がありますが、「四つのテスト」の実践こそお客様の信用と信頼を得ることになり会社の継続的な発展に寄与するものと考えています。



 須永 恵子 会長



私は病院勤めから自営業に嫁いできました。若いころには自分の会社を良くするためだけを想い我欲だけが走

りました。

しかし、しばらく時が過ぎて気づいてみますとそれだけでは満たされない自分いることに気づきました。そして、お得意様や社員た

ち、家族のおかげで今の自分たちがあることに気づき、感謝の気持ちを持つようになりました。

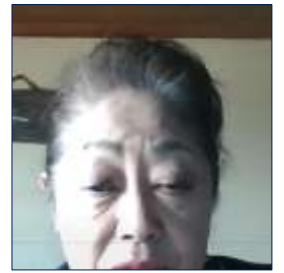
お得意様に、社員たちに、家族にみんなに分け合い周りの人たちの幸せが自分のしあわせに繋がっていると感じております。古河東ロータリークラブの皆様には会長という大役を頂き育てていただいていることに感謝をいたします。

 高橋 采子 会員

私は、1997年4月15日に入会、2010年～2011年に会長を務めさせていただきました。そのときは、山崎さんが現職ガバナーという大変な時期、そして「3.11」という大災害があり、目まぐるしい活動があり、なんとかロータリー活動を完遂することができました。

2020年の2月の初め、国際奉仕活動でネパールの児童に、学用品を贈呈するというプロジェクトに参加させていただき、2つの学校を訪問しましたが、そのときには、未だコロナを感じておりませんでした。ネパールからタイを周り帰国しましたら、「よく帰ってこられましたね」と声をかけられ、不思議に思っておりました。丁度寄港客船からコロナ感染のニュースが報じられている時期でした。立ち寄ったホテルのスタッフの皆さんが、マスクを

つけ対応していらっしゃいました。その頃、古河ではマスク姿の人はあまり見かけませんでした。



あれから、丸2年、これほど感染が続くとは、思いませんでした。古河市においても、現在蔓延防止等重点措置期間に指定されております。経済活動が停滞し、常態化してしまうのが恐ろしく感じます。コロナというウイルスが、人の体をむしばみましたが、人の心までむしばまれないよう危惧いたしております。

お祝い事、法事、慶事、仏事などでも、生活様式が変化し、古き良き行事、慣習が廃れてしまわないよう、心がけたいものです。日本人の生活のあり方、文化を年配の方々には、後世に語り伝えていただけたらと思います。



第 2045 回 Zoom 例会

今後の予定

2021-2022 年度 RI シェカール・メータ会長 テーマ「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」
 2021-2022 年度 古河東 RC 須永恵子会長 クラブスローガン「温故知新その先に」

例会日程	出席グループ	例会会場	内 容
第 2047 回 3月15日(火)	希望者全員	Zoom 例会	職業奉仕リレースピーチ 1人5分以内／一週5人 タイムキーパー井上学職業奉仕委員長
第 2048 回 3月22日(火)	希望者全員	Zoom 例会	
第 2049 回 3月29日(火)	-	-	第5週につき休会
第 2050 回 4月5日(火)	A・B	古河商工会議所 3F	第10回理事会 11時～ 会員卓話「ロータリーモーメント」 お弁当担当：お食事処 静
第 2051 回 4月12日(火)	B・C	古河商工会議所 3F	お客様卓話 茨城県議会議員 森田悦男先生(いばらき自民党) お弁当担当：ホテル山水
第 2052 回 4月19日(火) ➡ 10日(日)	希望者全員	利根川河川敷	第4分区利根川クリーン作戦
第 2053 回 4月26日(火) ➡ 21日(木)	希望者全員	埼玉県深谷市	渋沢栄一ゆかりの地 「論語の里」めぐり 担当：職業奉仕委員会

固定メンバー 10名		Aグループ 12名	Bグループ 12名	Cグループ 12名
会長	須永 恵子	秋庭 寛子	桑原 正信	板橋 孝司
幹事	田口 精二	井上 学	岡村 裕太	齊藤 愛
バストガバナー	山崎 清司	猪瀬 一也	小山 幸子	鶴岡 学
会長エレクト	小森谷 久美	植木 静子	齊藤 忠	福江 眞隆
会計	白戸 里美	江口 紀久江	坂田 信夫	福富 好一
スマイル	大橋 みち子	海老沼 堯	佐藤 孝子	古谷 弘之
親睦委員長	福田 優子	小倉 郁雄	佐谷 道浩	星野 龍肇
クラブ会報・IT	石川 久	小林 好子	杉岡 榮治	三田 浩市
クラブ会報・IT	松井 実	柿沼 利明	須田 純一	三田 圭子
SAA	久野 茂	加藤 奨一	高橋 采子	森 敏夫
		栗田 吾郎	武澤 郁夫	山腰 すい
		松本 幸子	大谷 祥寛	山室 和徳

新井和雄 地区ガバナー スローガン 「Think Globally, Act Locally」(地球の未来を想い 地域社会に貢献しましょう)

地区行事等

3/20(日)	地区チーム研修セミナー	4/24(日)	地区研修・協議会
4/10(日)	第4分区利根川クリーン作戦	5/7(土)・8(日)	地区大会
4/14(木)	地区大会記念ゴルフ		

例会を欠席する時は前日までに SAA までご連絡ください。

SAA：久野茂 [e-mail] shigeru.kuno@gmail.com [電話] 090-3234-0078

原稿の送付先は 石川久まで [e-mail] suzukiyonezo@bz03.plala.or.jp 又は [FAX] 0280-22-6606



創 立：1982年(昭和57年7月6日) URL：<http://www.kogaeast.jp> 週報他、例会等の詳細情報はホームページをご覧ください。

例会日時：火曜日(12:30～13:30) 例会場：古河商工会議所 3F(古河市鴻巣 1189-4 電話:0280-48-6000 FAX:0280-48-6006)

文 責：古河東ロータリークラブ会報 IT 委員会 [石川・松井・松本・齊藤(愛)]